

平成 30 年度東京農大校友会京都府支部総会結果

(開催日時) 平成 30 年 9 月 8 日 (土) 午前 11 時～

(開催場所) 京都タワーホテル 8階

(来賓) 校友会 副会長

外園 剛 氏

東京農業大学生命科学部長 バイオ村インズ学科教授

矢嶋 俊介 氏



(出席状況)

前日から京都府地域に大雨に関する警報等が発令され、避難勧告の発令や通行止め道路、公共交通機関の一部運行停止など気象関係の影響で、当日、3名の欠席があったことから総会34名、懇親会33名となりました。

しかしながら、開催時間帯を夕刻から昼間に変更したことにより、遠方からの会員の参加があったのと、昨年度に引続き若い世代の会員の参加が多数(約半数)あり、昨年に引続き参加者の増加が見られました。

また、受付では、今年度からの事業として始まりました箱根駅伝を支援する「ONE コイン募金」の受付を行い、参加者の皆さんから募金をして頂きました。早速、募金された方の名簿を付けて校友会京都府支部として校友会本部へ送金しました。



(功労者表彰)

14年に渡り支部長を務められた奥田豊氏に対する功労者表彰が外園副会長によって表彰が行われました。



(総会 11:15~12:00)



○外園校友会副会長あいさつ

- ・125周年記念募金の目標達成のお礼
- ・ONEコイン募金の協力依頼 ほか

○矢嶋生命科学部長あいさつ

- ・大学の機構改革(新しい学部=生命科学部の創設、多数の学科の変更)
- ・稲花付属小学校の開校(平成31年4月)の決定 ほか



○議題

- (1) 29年度事業・会計報告、30年度事業計画案
- (2) 支部年会費の値上げ(1,000円⇒2,000円)

現行の会費だけでは、会員への総会開催案内等に係る事務費にほとんどを費やしてしまい、部会は存在しても、活動を行なう経費を捻出できない状況にあります。



(意見) 2,000円に値上げしても、納入者が減少すれば収入増とはならない可能性があるのではないか?

(賛否) 全員の賛同により承認されました。

(講演 12:00～13:00)



昭和57年、造園科を卒業後、京都市職員となり、現在は「京都市動物園第31代園長」を務める片山博昭氏から「植物も動物も・・・すべての命が輝く街に」と題して講演がなされました。

- ・市民の手でつくられた日本初の動物園で、全国唯一5人の博士がいる。
- ・日本で2番目に作られた観覧車がある遊園地内からは、平安期の白河天皇が建立した六勝寺の一つ法勝寺の八角

九重塔の遺跡が発掘されている。

- ・カバの「つぐみちゃん」のお話し

カバは、血の汗をかくと言われるが、身を護るために体液が酸化して赤くなる現象である。

- ・キリンの「みらいちゃん」の右後ろ脚にハートマークの模様あり。見つければ、恋愛が成就するそうです。是非見つけてください!

(動画を鑑賞)

- ・逆子のお産である「ニホンカモシカ」を獣医他約10の職員が総がかりで美辞出産させ、心肺停止状態の赤子を心肺蘇生によって蘇生させる。

- ・ゴリラの「ゲンタロウ君」の数字宛て!最初は、1～4ぐらいまでの数字を順番に当てるのがやっとだったのが、14の数字まで猛スピードで正解して行く様子。

などなど・・・

(懇親会 13:20～15:30)



【林田洋顧問】

8階福鶴の間から桜寿・寿洛の間に場所を移して、大阪支部と兵庫県支部からの来賓を交え、総勢33名で懇親会が開宴されました。



【椿野兵庫県幹事長】

【南部大阪支部長】



・また、前回に引き続き、久々に出席され懐かしいお顔を見せて頂いた方が更に増えました。

- ・昨年は、体調を崩されて欠席されました S22 年卒の古原崇先輩が元気な姿を見せられました。
- ・京丹後市から 2 名（3 名のうち、1 名は前日からの大雨の影響で欠席されました。）の方が出席されました。



- ・前回同様、平成以降の卒業生が 13 名と多数参加され（14 名のうち、1 名は台風の後処理のため欠席されました。）、世代間を超えた交流ができ、有意義な交流の場が持てました。
- ・最後は、いつものとおり山本先輩の先導で学歌、青山ほitoriで締めくくりです。

(後 記)

ここ数年、総会参加者は 20 名を下回る状況でしたが、昨年は、久々に顔を見せて頂い



た方や若い方が増加し、26 名の参加を得られました。

今回は、更に若い方や久しぶりの方の参加が増加し 33 名となりました。総会時間を昼間に変更したことにより、遠方から参加しやすくなったのではと思っています。

小島新体制では、支部会員間の交流の機会を広げることにより、京都府支部の活性化を図ることを目指しており、総会参加者の増加や部会活動の活性化が大切だと考えております。

総会参加者の増加を図るため少しでも参加しやすい環境を作ろうと、参加費減額に向



けてのホテル等との折衝や時間設定の更なる検証を進めています。

また、部会活動の活性化を図り、支部会員の近況情報の提供や参加型イベントの開催などを考えておりますが、経費的な問題が障害となっているのが現状です。

そのような理由から、今回、総会で年会費の増額を提案させて頂き、出席された方全員の承認を頂きましたが、ご意見にありましたように増額によって納入者の減少が考えられます。

つきましては、提案の主旨をご理解いただき、京都府支部の活性化にご協力頂くことをお願いし総会結果の報告とさせていただきます。



※ 総会結果は、東京農業大学校友会本部のホームページに掲載しています。また、今後部会活動が具体的に稼働し出せば、その内容も掲載する予定ですので、是非ご覧ください。

(東京農業大学ホームページ⇒各支部の活動⇒京都府を選択してください。)